

平成 28 年度 大阪アクティブシニア協会 理事長コメント集

2016 年

4 月

- ◆OASA 三役会(平成 27 年度最終回) 八木新事務局長を迎えての会合となり、6 期通常総会に向けての検討会が中心になった。組織も一部見直し、人事面での検討が課題となった。新たな陣容で、更なる発展をめざしていきたい。

5 月

- ◆大阪アアクティブシニア協会 第 6 回通常総会 正会員 18 団体、理事、賛助会員総数 30 名の参加で平成 27 年度活動報告ならびに平成 28 年度活動方針が承認された。来賓に大阪府 菱谷課長、大阪市教育会館 平澤理事長および高大 三田副理事長をお迎えし開催できましたことに改めてお礼申し上げる。平成 28 年度は 5 年目となる。大阪 200 万人 (65 歳以上) のシニアの皆さんが、自ら行動するアクティブシニアとして地域に密着した社会参加活動を展開していきたいと考えている。

6 月

- ◆大阪アクティブシニア協会の三役会 (第 1 回)が開催された。新しい顔ぶれに、これからの運営に期待感が持たれる。アクティブシニアがあふれる大阪事業が、大阪府の方針が平成 29 年度で終了となる。その受け皿として、新たな高齢者計画を構築していきたい。

7 月

- ◆OASA 第 2 回理事会を開催し、「一般社団法人 心学明誠舎」の正会員入会を承認した。19 団体となる。アクティブシニアフェスタ 2017 の開催日 2017 年 3 月 9 日(木) を内定、開催地は選考中である。アクティブシニアがあふれる大阪事業は、大阪府の委託事業として 9 月目途に提案する。大阪出前サポートバンク事業は、順調に活動を展開している。大阪滋慶学園の日本の伝承玩具教室は 2 回実施し中国の留学生に好評を得た。また、小学校いきいき教室は 7 回実施され活動の柱となっている。 スタッフの皆さんのボランティア活動に感謝申し上げます。